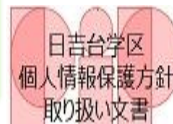


# 日吉台の福祉



【日吉台の福祉】で

検索 🔍



発行 日吉台学区社会福祉協議会

ホームページ <http://www.geocities.jp/hiyoshidainohukushi>

## ごあいさつ

日吉台学区社会福祉協議会  
会長 呉屋之保

日吉台学区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は当協議会の運営に対し、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、去る4月18日開催の総会において当協議会会長に再任され、就任することになりました。

昨年度は、住民全体の交流を深める「福祉まつり」の開催をはじめ、「ささえあい事業」「ふれあいサロン日吉台」や「ふれあい給食」など高齢者の自立支援事業に加え、「寺子屋プロジェクト」「子ども食堂」や「ママ友サロン」など子供育成事業についても、皆様の暖かいご支援、ご協力のもとに取り組むことができました。

今後も、お互いに支え合い助け合える「住み続けたい町 日吉台」を目指して、地域福祉活動の推進・充実に努めてまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 平成31年度 日吉台学区社会福祉協議会総会を開催

4月18日（木）午後7時から日吉台市民センターにおいて、平成31年度総会を開催いたしました。平成30年度の事業報告・収支決算、平成31年度の役員及び事業計画・収支予算等が協議され、原案どおり 承認可決いただきました。その主なものを紹介します。

### 平成31年度 活動方針

#### ◎ 基本方針

地域福祉活動計画『ふくしのまちづくり計画』に沿って進めきた福祉のまちづくり、本年度も高齢者から子どもまですべての住民が安心して暮らせる町となる事を願って活動します。

いま、日吉台は支所組織の縮小や空家対策問題など日常生活に影響する問題が起こってきています。私達は、学区自治連合会や自治会及び学区内諸団体と連携し、協力しあって住民の福祉を守る活動に積極的に取り組んでいきます。

#### ◎ 具体的推進

##### ○ 福祉まつりの開催

高齢者の方々の長寿を祝う式典「敬老のつどい」をメインに、おたのしみ広場や模擬店など住民全体が楽しめるイベントとして「福祉まつり」を開催します。

##### ○ ささえあい事業の実施

高齢者の生活支援等住民相互の支え合い・助け合いの活動をつうじて、思いやりのある住みよい町になるよう、支えあい事業を推進します。

##### ○ ふれあいサロン日吉台の実施

地域住民の交流と親睦を図るため、いろいろな催しを楽しむ「ふれあいサロン」、健康寿命をのばす「すこやかサロン」、百歳体操など健康づくりを行う「いきいき体操サロン」、自然や名所旧跡に親しむ「おでかけサロン」更に子育て世代を応援する「ママ友サロン」などのサロン活動を充実します。

- ふれあい給食事業の実施  
ひとり暮らしの高齢者を対象に手作り弁当を月1回お届けし、見守り活動を行います。
- 寺子屋プロジェクトの実施  
自治連子育て応援隊の協力をいただき、長期休暇中の学習支援と子どもたち自身が考えた企画で思い出に残る楽しい寺子屋活動を実施します。
- 子ども食堂の開催  
ボランティアの皆さんが作った手作りの昼食を、子どもたちと地域の皆さんが一緒になって食べることで交流を深め、地域での子育てを応援します。
- ふれあい農園の活動  
野菜の栽培・収穫を通じて会員相互の交わりを深め、子どもたちの学習とふれあいの場を広げます。
- 地域福祉懇談会〔ケア会議〕  
比叡すこやか相談所、比叡あんしん長寿相談所、市社協、及び介護サービス事業所等の関係者と地域住民が集まり地域福祉向上のために研修や情報交換を行います。
- まちづくり講座の開催  
安全で豊かな生活環境の維持と改善を話し合い、健康な生活を送るための知識・情報を学ぶ「福祉のまちづくり講座」を開催します。
- 広報紙の発行及びホームページによる情報発信
  - 1) 広報紙「日吉台の福祉」を年3回発行して全戸配布します。
  - 2) ホームページの更新と管理を行います。
- 社会福祉諸団体との連携  
市社協や、比叡ブロック社協などの関係団体と情報交換や交流を図ります。

◎ 平成30年度 収支決算 及び 平成31年度 収支予算 (単位: 円)

項 目		30年度決算額	31年度予算額
収 入 の 部	前年度繰越金	468,778	459,640
	大津市敬老祝い金	150,000	150,000
	市社協助成金	949,675	603,975
	自治連助成費	383,600	383,600
	福祉事業賛助金	322,000	300,000
	雑収入	97,227	75,000
	合 計	2,371,280	1,972,215
支 出 の 部	事業助成金	774,573	548,800
	研修費	136,648	120,000
	市社協負担金	112,700	112,700
	福祉まつり開催費	402,109	400,000
	歳末助け合い募金	70,505	70,000
	比叡ブロック社協分担金	30,000	30,000
	機器設備費	185,328	30,000
	渉外費	24,500	30,000
	事務費	79,497	90,000
	慶弔費	11,000	10,000
	旅費	14,360	15,000
	保険料	70,420	101,850
	福祉基金積立金	0	0
	予備費	0	10,000
次年度繰越金	459,640	403,865	
合 計	2,371,280	1,972,215	

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
会長	呉屋 之保 ★	評議員	藤田 保雄	評議員	飯島 繁美 ★
副会長	岡井 信太郎 ★	評議員	高田 敦子	評議員	多田 幸生 ★
事務局長	北村 稔 ★	評議員	山本 直樹	評議員	石井 裕子 ★
事務局次長	竹村 幸子 ★	評議員	藤田 嶺子 ★	評議員	中尾 善三郎 ★
事務局次長	奥山 重樹 ★	評議員	木村 啓代	評議員	丸山 郁夫 ★
事務局次長	原田 和彦 ★	評議員	藤井 里香	評議員	石島 邦男 ★
事務局次長	中川 せつ子 ★	評議員	井崎 好宜	評議員	村上 正利 ★
事務局次長	村田 信子 ★	評議員	田川 学	評議員	葛原 喜明 ★
事務局次長	吉川 康代 ★	評議員	熊川 芳彦	評議員	西山 勝治 ★
会計	大石 憲次 ★	評議員	城 宣子	評議員	衛藤 彰男 ★
理事	横山 隆	評議員	小野山 加奈子	評議員	小島 雄一 ★
理事	北海 彰	評議員	松井 知敬	評議員	清水口 稔 ★
理事	中井 まりえ	評議員	多田 章子	評議員	黒井 志穂 ★
理事	樫田 浩一	評議員	松島 賢司 ★	評議員	片岡 マユミ ★
理事	伏木 秀文 ★	評議員	森田 やよい ★	評議員	坂口 博子 ★
理事	小井 順子	評議員	奥村 顕一 ★	評議員	廣田 光俊 ★
理事	小林 昭示	評議員	日野 倫将 ★	評議員	川越 久聖 ★
理事	上条 善司	評議員	高村 ひろ子 ★	評議員	川越 節子 ★
理事	小島 由子	評議員	津田 裕之 ★	評議員	石岡 一葉 ★
理事	土屋 和子 ★	評議員	早川 保夫 ★	評議員	前田 知子 ★
理事	佐藤 秀藏	評議員	大江 不二雄 ★	評議員	阿部 則子 ★
理事	粟津 広之	評議員	杉原 邦夫 ★	評議員	山田 與四一 ★
理事	六浦 抄江	評議員	今江 亮 ★	評議員	浅山 鞠子 ★
理事	森 育寿 ★	評議員	宇野 麻紗子 ★	評議員	小野山 博人 ★
理事	高村 克彦	評議員	加藤 速雄 ★	評議員	矢橋 みどり ★
監事	安孫子 昌治	評議員	上川 健 ★	評議員	秋本 重夫 ★
監事	森本 容子	評議員	森寄 隆之 ★	評議員	松宮 恭子 ★
評議員	岡崎 一郎	評議員	村澤 聡子 ★	評議員	森下 容子 ★
評議員	石原 雅代	評議員	細川 俊行 ★		
評議員	山下 英子	評議員	角田 豊 ★		

### 「日吉台ささえあいの会」からのお願い

30年度の実績は、延239件でした。主な活動は、ゴミ出し(62%)、屋外雑用(11%)、庭草取り(7%)、買物(5%)、屋内雑用(5%)、庭木刈込(5%)で全体の95%です。

**特に現在、庭の草取り、庭木の刈込のサポーターを募集しています。**



庭の草取り、庭木の刈込の作業内容は、現在は、サポーターの高齢化を考慮して、

原則1日2時間程度、また 植木の高さが2m以下の作業のみを受付けさせていただきます。

作業報酬は、**30分毎 250円** を目途に ご依頼主からサポーターへご支払いいただいています。

是非下記の専用電話でサポーター登録にご協力ください。

日吉台「ささえあいの会」受付電話番号 080-1459-7026 (受付時間は平日10時～17時)

## 民生委員児童委員協議会よりお知らせ

### 今月の疑問 「認知症になったら人生もうおしまい？」

多くの人たちが「認知症になったら何もわからなくなる、何もできなくなる」「認知症になったら人生もうおしまい」というイメージ(偏見)をもっています。そういった思いこみから、認知症と診断されたかたはショックで生きる気力を失ってしまっていることがあります。

しかし、実際には認知症になったからといきなりすべてがわからなくなったり、できなくなったりするわけではありません。少しずつ、わからないことやできないことは増えていきますが、診断後何年もたっても、まだまだわかること、できることがたくさんあります。



### できないことは、わりきって、できることをたいせつに

できないことが増えてくるのはつらいことですが、くよくよしても不安は解消できません。

「できること」はできるだけ自分でやり、できないことだけを、まわりにちょっと助けてもらうのが、認知症になっても楽に、たのしく暮らすひけつです。

### いきなり「なにもできなくなる」わけではない

初期のうちほど、できることが沢山ありますので、おかしいかな? と思ったら早めに診断することをおすすめします。認知症と診断されても「病気だ」と割りきることで、かえって気持ちが楽になれます。「できること・助けてもらいたいこと」について家族や友人のかたと話しあえば、まわりもきっと理解してくれるでしょう。

参考：日本認知症本人ワーキンググループ「本人にとってのよりよい暮らしガイド」

### ひとりで悩まずに・・・

認知症は誰にでも起こる病気です。認知症になった人もその家族も、ひとりで悩まず、相談できる人を見つけておくことが大事です。(かかりつけ医・ケアマネジャー等)

#### 認知症の困りごと・心配ごとの相談

○大津市 長寿政策課 077-528-2741

○比叡あんしん長寿相談所 077-578-6637・077-578-6692



民生委員児童委員